

## Ⅱ 電子マネーの保有・利用状況

### 1 5割を越えた電子マネー利用※<sup>2</sup>世帯の割合

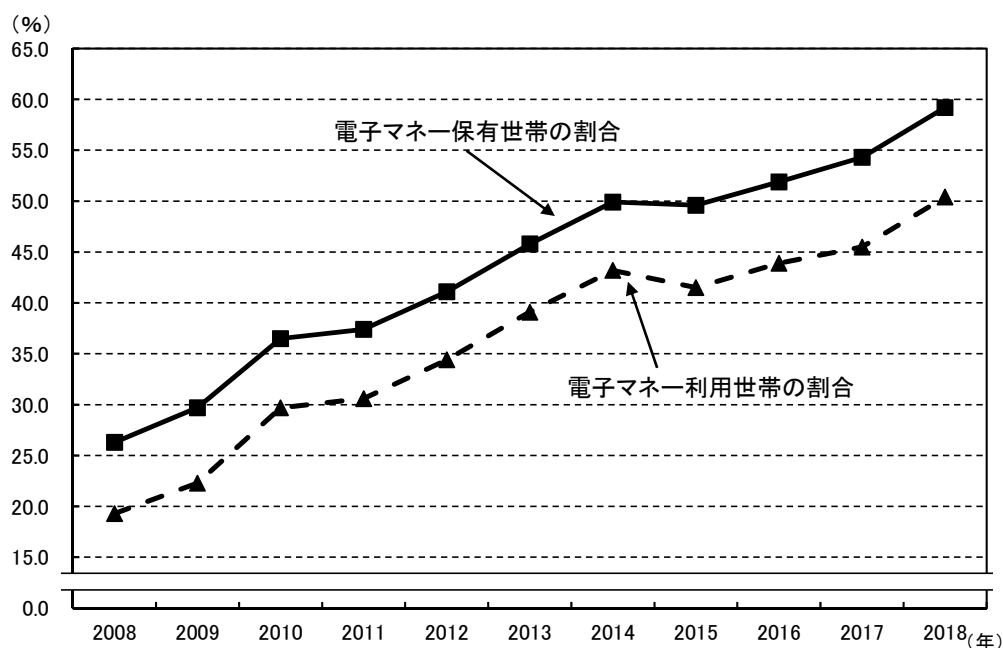
二人以上の世帯における2018年の電子マネーを保有している世帯員がいる世帯（以下「電子マネー保有世帯」という。）の割合は59.2%で、前年に比べ4.9ポイントの上昇となった。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯（以下「電子マネー利用世帯」という。）の割合は50.4%で、前年に比べ4.9ポイントの上昇となり、5割を越えた。（表Ⅱ－1、図Ⅱ－1）

表Ⅱ－1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）

年次	電子マネー 保有世帯	電子マネー 利用世帯
割合(%)		
2008年	26.3	19.3
2009	29.7	22.3
2010	36.5	29.7
2011	37.4	30.6
2012	41.1	34.4
2013	45.8	39.1
2014	49.9	43.2
2015	49.6	41.5
2016	51.9	43.9
2017	54.3	45.5
2018	59.2	50.4

図Ⅱ－1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）



※2 この調査での「電子マネーの利用」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカード等（次の例を参照）の利用をいう。

例) Suica, ICOCA, PASMO, nanaco, WAON, 楽天Edy, WebMoney, BitCash, クオカードなど  
 なお、デビットカードの利用や、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスの利用は含まない。  
 また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等の利用も含まない。

## 2 電子マネー利用世帯の割合は、世帯主が40歳代の世帯で最も高い

二人以上の世帯における2018年の電子マネー利用世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が63.9%と最も高く、次いで50～59歳(63.2%)、40歳未満(59.7%)などとなっている。

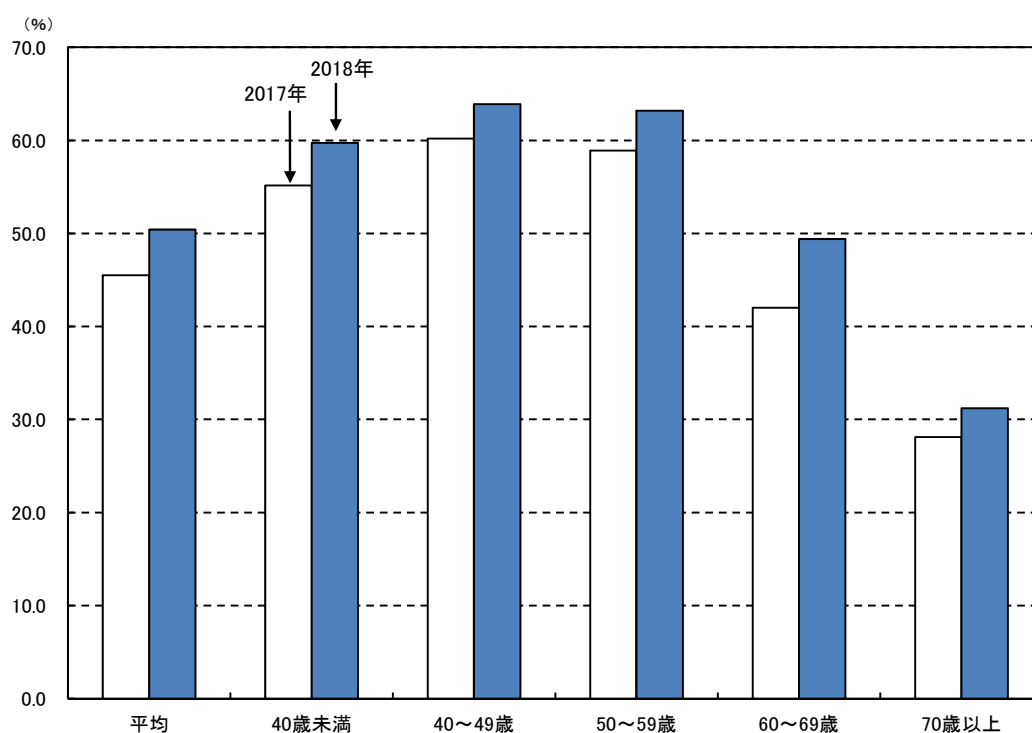
前年と比べてみると、60～69歳が7.4ポイントの上昇、次いで40歳未満が4.6ポイントの上昇となるなど、全ての年齢階級で上昇となった。

なお、電子マネーの利用状況についての調査を開始した2008年と比べてみると、最も上昇したのは50～59歳で40.9ポイントの上昇、次いで40～49歳で36.5ポイントの上昇、60～69歳で33.4ポイントの上昇などとなっている。(表Ⅱ-2、図Ⅱ-2)

表Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
割合(%)						
2008年	19.3	27.0	27.4	22.3	16.0	10.1
2017年	45.5	55.2	60.2	58.9	42.0	28.1
2018年	50.4	59.7	63.9	63.2	49.4	31.2
2018年と2017年の差(ポイント)	4.9	4.6	3.7	4.3	7.4	3.1
2018年と2008年の差(ポイント)	31.1	32.8	36.5	40.9	33.4	21.1

図Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合(二人以上の世帯)



### 3 電子マネー利用金額は増加

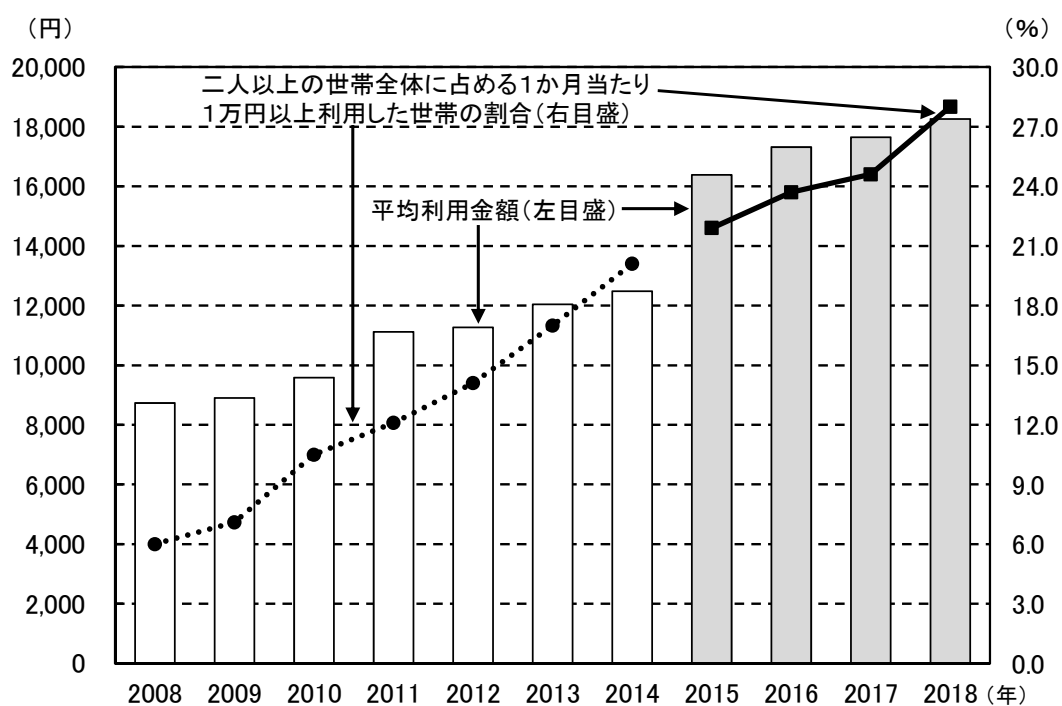
電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における 2018 年の電子マネーの利用金額は、1 か月平均 18,256 円で、前年に比べ 3.5% の増加となった。

また、二人以上の世帯全体に占める電子マネーを 1 か月当たり 1 万円以上利用した世帯の割合は 28.0% で、前年に比べ 3.4 ポイントの上昇となった。（表Ⅱ－3，図Ⅱ－3）

表Ⅱ－3 電子マネー利用世帯の 1 か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）

年次	平均利用金額(円)	二人以上の世帯全体に占める 1か月当たり1万円以上 利用した世帯の割合 (%)
2008年	8,727	6.0
2009	8,897	7.1
2010	9,588	10.5
2011	11,116	12.1
2012	11,269	14.1
2013	12,044	17.0
2014	12,480	20.1
2015	16,382	21.9
2016	17,318	23.7
2017	17,644	24.6
2018	18,256	28.0
2018年の対前年 名目増減率(%)	3.5	-

図Ⅱ－3 電子マネー利用世帯の 1 か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）※3



※3 2015年1月に調査票を変更した。このため、電子マネー利用世帯における1か月間の平均利用金額については2014年12月以前の結果と時系列で比較する際は注意が必要である。

#### 4 電子マネー利用金額は、世帯主が40歳未満の世帯で最も増加率が高い

電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における2018年の電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1か月平均19,741円で最も多く、次いで60～69歳（19,448円）、40～49歳（17,457円）などとなっている。

前年と比べてみると、40歳未満が16.3%の増加、次いで60～69歳が5.9%の増加となるなど、70歳以上を除く全ての年齢階級で増加となった。（表Ⅱ－4，図Ⅱ－4）

表Ⅱ－4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
月平均額(円)						
2017年	17,644	14,247	16,969	19,002	18,356	17,478
2018年	18,256	16,564	17,457	19,741	19,448	16,594
名目増減率(%)						
2018年	3.5	16.3	2.9	3.9	5.9	-5.1

図Ⅱ－4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

